

## 第 143 回 計測技術委員会議事録

日 時 平成 26 年 7 月 30 日 (水) 14 : 30 ~ 17 : 00

場 所 電気倶楽部 C 会議室

出席者 委員長 田辺 (電中研)

委員 岩佐 (産総研)、内田 (電通大)  
大谷 (アンリツ)、黒川 (産総研)  
作田 (日本大)、福地 (電中研)

幹 事 仲嶋 (三菱電機)

### 資 料

- 143-1 平成 27 年度 計測技術委員会活動計画 (一次案)
- 143-2 平成 27 年度 研究会開催予定 (一次案)
- 143-3-1 平成 26 年度 計測技術委員会活動状況
- 143-3-2 計測技術委員会 見学会候補
- 143-4-1 計測研究会プログラム (6 月開催分)
- 143-4-2 計測研究会プログラム (7 月開催分)
- 143-5-1 電気学会 研究会企画連絡シート (10 月開催分)
- 143-5-2 電気学会 研究会企画連絡シート (11 月開催分)
- 143-6 電気専門用語集
- 143-7-1 第 10 回スマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会議事録
- 143-7-2 第 11 回スマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会議事録
- 143-7-3 第 12 回スマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会議事録
- 143-8 審議事項 20140730
- 143-9 平成 26 年度研究会補助金計算書
- 143-10 平成 27 年度全国大会シンポジウム課題提案取りまとめの依頼
- 143-11 A 部門大会における技術委員会ポスターご作成のお願い

### 議 事

#### 1. 議事録の確認

- ・議事 1 の A 部門長よりの計測に関する将来の夢を描いたマップの打診について、アクションの必要性に付いて質問があった。現状のアクションは見合わせる。過去例を幹事団にて調査する。
- ・議事 5 特集号の解説記事について、調査専門委員会の内容を紹介する記事の掲載可否について議論があった。10 月の研究会にて岩佐委員が記事ひな形を資料として作成して発表し、その内容を基に議論を行う。

#### 2. 運営委員会報告

田辺委員長より運営委員会の報告があった。

- ・資料 143-8 1)調査専門委員会の成果物についての意見集約に対して、委員会の意見集約を行った。本来の報告形態である成果報告形態(a)、(b)、(f)については何らかの特典を付けてモチベーションを高める事を次回運営委員会で提案する。
- ・資料 143-8 4)技術報告の値上げ案に対する意見集約を行った。当委員会としては、運営委員会の意向である A 案 (非会員 20%、会員 5%up) に同意する。

3. 平成 27 年度 計測技術委員会活動計画（一次案）及び平成 27 年度 研究会開催予定（一次案）  
仲嶋幹事より資料 143-1 及び資料 143-2 に基づき、平成 27 年度 計測技術委員会活動計画（一次案）及び平成 27 年度 研究会開催予定（一次案）について説明があった。
  - ・ 6 月及び 2 月の研究会は会場を地方と記載する。
  
4. 平成 26 年度 計測技術委員会活動状況及び見学会候補地選定  
仲嶋幹事より資料 143-3-1 及び資料 143-4-1～資料 143-5-3 に基づき、平成 26 年度 計測技術委員会活動状況について説明があった。また、資料 143-3-1 の見学会候補地案を元に見学会候補地の選定を行った。
  - ・ 7 月の委員会は台風の影響で本日 7/30 に変更となった。
  - ・ 佐賀の研究会に併せて産総研九州センターの見学を計画する。日程は研究会前日の 11/19（水）14：00 より 2 時間程度とし、黒川委員が現地受入可否を確認する。
  - ・ 柳澤委員の退任に伴う 2 月の研究会の企画担当委員交代について議論され、横河電機竹内氏の委員就任と 2 月研究会への担当割り振りが承認された。
  - ・ 10 月の研究会では TC57 の委員の東芝田中氏による 1.5 時間程度の講演を計画している。
  
5. 電気学会 電気専門用語集の見直しへの協力依頼について  
資料 143-6 に基づき専門用語集の項目を確認した。
  - ・ 現時点でのアクションはせず、依頼が有った場合に依頼内容に基づいて再度議論を行う。
  
6. 調査専門委員会について  
岩佐委員より資料 143-7-1～資料 143-7-3 に基づき、スマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会について説明があった。また、資料 143-8 及び資料 143-10 の基づきシンポジウムの開催について議論を行った。
  - ・ 12 月に調査専門委員会を解散し、産総研藤木氏を委員長とする整理委員会を立ち上げたい旨の提示があり承認された。
  - ・ シンポジウムの提案は 10 月の研究会の状況を見て判断する。藤木氏には次回の委員会に出席し、シンポジウムの実施について議論を行う。
  
7. その他
  - ・ 仲嶋幹事より平成 26 年度活動補助金計算書の説明があった。
  - ・ A 部門大会のポスターは資料 143-11 の依頼に基づき作成され事務局に提出済みである。
  - ・ IEEE の AWARD について、2 位の青山大及び 3 位の佐賀大の学生が既に就職しており受賞を辞退したため、次点のお茶の水大の学生を繰り上げ受賞とする。
  - ・ IEEE の本年度の表彰は 3 万円で運営する
  - ・ IEEE 学生発表会の開催案内は第 1 回、第 2 回とも 20 名程度として募集する。

次回予定

日 時 平成 26 年 10 月 10 日（金）14:30 ～ 17:00

場 所 未定